

令和 5 年度 第 2 回浦添市地域公共交通活性化協議会
議事要旨

日時：令和 5 年 11 月 1 日（水）

13：30～16：30

場所：浦添市役所 9 階講堂

■ 1. 1 令和 5 年度 第 1 回浦添市地域公共交通活性化協議会議事要旨（資料 1）

■ 1. 2 今後の進め方とスケジュールについて（資料 2）

■（議題） 2. 1 浦添市地域公共交通計画（素案）（資料 3）

| 発言者 | 主な指摘・意見 | 回答・対策方針など |
|-------------------------------------|--|--|
| 株式会社琉球バス 交通 代表取締役 小川 委員 | <p>① 32 頁の交通ネットワーク図において、256 番・233 番が存在し浦添総合病院は 256 番でフォローしようと考えている中で、てだこ浦西地域のデマンドはなぜ必要なのか。</p> <p>② 48 頁⑤において運行系統見直しが 3 系統となっているのはなぜか。</p> <p>③ てだこ浦西駅において、現状、直接乗り入れバスのみしか案内標示がない。交通結節機能の強化として 256 番などすぐ近くの乗換案内標示もすべきでは。</p> | <p>（事務局）</p> <p>① 今後、既存の路線バスやタクシーを活用した上で、最終的な移動手段として、コミュニティバスやデマンド交通を活用したいと考えている。将来的な位置づけとして記載している。</p> <p>② 当該計画は 5 年間の計画となっており、1 年目に路線選定、2～4 年目まで 1 年毎に 1 系統のバス網見直し、5 年目に振り返りを行うということで 3 系統程度と設定した。</p> <p>③ てだこ浦西駅周辺の路線バスは、琉球バスや那覇バスの系統が多くあり、西原入口付近の案内については路線バス事業者を中心に、沖縄都市モノレール(株)と本市で連携して取り組んでいければと考えている。</p> |
| 沖縄県土木建築部 中部土木事務所 班長 阿波根 委員 | <p>① 浦添市においてはモノレールの延長や 58 号・330 号を走るバス等の交通が存在するがここでも運転手不足が深刻だと理解している。その中で、まちづくりと交通の関係性が重要だといえ、47 頁に記載があり良いと思う。浦添市では区画整理事業も精力的に行われているので、まちづくりと連動した交通図などを入れると良いのでは。</p> | <p>（事務局）</p> <p>① 区画整理事業でも交通広場など交通と関連するものがある。55 頁施策⑥のような駅等と結節した取り組みの中で記載できるか検討したい。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| <p>浦添市地区タクシー事業者会 会長 豊見山 委員</p> | <p>① 54頁に記載のある牧港コープ送迎事例での利用実績を把握しているのならば教えていただきたい。</p> <p>② 65頁に関連し、浦添市庁舎でキャッシュレス化の取り組みはなされているのか。</p> | <p>(事務局)</p> <p>① 民間事業者がやっている事業なので、手持ち資料で実績は不明である。後日確認して提供可能かどうかも含めて、個別にお知らせしたい。</p> <p>② 浦添市全体の取り組みを把握できていないが、おそらく行政のキャッシュレス化の必要性はあり検討されていると思う。しかし未実施だと思われる。</p> |
| <p>株式会社琉球バス交通 代表取締役 小川 委員</p> | <p>① ICカードに関して、タクシーや琉銀等と連携し利用できる場所は拡大している。計画にある令和10年度は遠すぎるので早々の取り組みを願う。また前検討会にて、庁舎1階にあるセブンイレブンでの販売の話は現在どうなっているのか。</p> | <p>(事務局)</p> <p>① 依然販売に向け調整中である。現在のように販売できない状況においては周知等の代替的取り組みを行っていきたい。OKICAの商業展開も大切だと考えるため、バス会社も株主である沖縄ICカード株式会社様にも利用拡大に向けご協力願いたい。</p> |
| <p>一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会 専務理事 大城 委員</p> | <p>① 目次の“第4章公共交通の役割と課題”にて「課題」という文言は内容に適していない。削除しては。</p> <p>② “第1章はじめに”にて時系列的に3段落目「近年～」を2段落目にし、現2段落目の「一方～」を「その中で～」に変更したうえで3段落目に持ってきては？</p> <p>また、現2段落目の“国が定めた公共政策基本法～”にて「国が定めた」という文言は不要では？</p> <p>③ 18頁の図2-20にて輸送人員の破線は不要では？逆に図2-20に29頁のタクシーの輸送人員を重ねるのはどうか？</p> | <p>(事務局)</p> <p>①②③事務局で内容を精査し、反映するか検討したい。</p> |
| <p>一般社団法人浦添市観光協会 事務局長 千住 委員</p> | <p>① 16頁～17頁の観光客に関する記述は、沖縄観光コンベンションビューローが公表している“おきなわ観光カルテ”というデータも参考にしてみると良いのでは。</p> | <p>(事務局)</p> <p>① 貴重な情報なので、後日公表箇所を教示いただきたい。</p> |

| | | |
|------------------------------------|---|--|
| <p>内閣府沖縄総合事務局南部国道事務局 副所長 大城 委員</p> | <p>① 58頁の施策⑨のバス待ち環境について、バス停上屋は基本、バス協会や交通事業者が実施するものとされている。予算に限りがあるため、年に多数設置できるものではなく、維持管理が課題となり、浦添市内での新規設置には厳しい状況である。広告付きバス停上屋の県内事例はあるのか。</p> | <p>(事務局)</p> <p>① 広告つきバス停の県内事例は存じていない。通常のバス停上屋については、那覇市や豊見城市が一括交付金を活用して実施したと聞いている。バス待ち環境の向上は、公共交通が現在置かれている状況を踏まえて、道路管理者でも必要な取り組みということで行政も協力していきたいと考えている。</p> <p>(慶田委員)</p> <p>① 運輸助成交付金で上屋を整備してきた。年に1200万程度。これまで110基程度整備してきたが、老朽化が進んでおり、対策が最大の懸案事項となっている。台風被害もあるが、手がつけられない状況もあるので、これまで以上に国や県、市の協力をいただきたい。バス停のネーミングライツで少しでも維持管理に当てられたらと考えている。</p> <p>(小川委員)</p> <p>① 当社はコロナや燃料費高騰を受けて、3年半で30億の負債がある。路線バスの乗客もまだ戻ってきていない。事業者負担が厳しい現状をぜひご理解いただければと思っている。</p> |
| <p>琉球大学工学部 准教授 神谷 委員</p> | <p>① 22頁バスに記載された浦添市からバス1本で行ける範囲について、やんばる急行の系統を含めると、本部今帰仁も行先としてあるのではないか。</p> <p>② 25頁の公共交通不便地域を人口ベースで表現していただいたが、西洲については居住地がないため、用途地域などを地図にかぶせて、公共交通カバー地域から除外する考え</p> | <p>(事務局)</p> <p>① 図中に※印で注釈記載している中に観光系路線バスを利用すればという文言の記載がある。</p> <p>② 業者と調整をしながら、記載内容を検討したい。</p> <p>③ ANAスポーツパークやカルチャーパーク内で今年より駐車場有料化が開始されるので、公共交通の利用周知と合わせて取り組んでい</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>もある。また、用途地域へ人口密度や高齢化割合などについても地図にかぶせることで、市街化区域内外で不便地域での公共交通の取り組みの内容が変わると思うし、高齢者と若者の割合による地区ごとの取り組みも見えてくる。すぐに検討できないかもしれないが、参考にお伝えできればと思う。</p> <p>③ 公共交通と駐車場施策について連携した取り組みも記載してはどうか。</p> <p>④ 具体的な施策の中にM a a Sの記載があり、mobiなどの定額乗り放題のサブスクリプションがあるので、取り組みに入れ込んでも良いのでは。自由に移動できる人にはシェアサイクル、高齢者が多い地域には交通事故の観点から公共交通の範疇でカバーするような計画を立ててもよいと考える。</p> | <p>きたいと考えている。また、新施設体育館の計画において、公共交通の導線案内などの課題がでていると聞いているので、関連する部署と連携した内容を記載できればと考えている。</p> <p>④ 50頁に記載の①タクシー事業による新たな旅客サービスの導入検討の詳細でサブスクリプションを記載している。市民ワークショップの中で若者に対する公共交通の利用促進についてサブスクリプションの提案が上がっていたため、記載している。今後①のタクシーだけでなく路線バスの施策にも記載するのか、交通事業者ヒアリングを通して可能かどうか検討したい。</p> |
| <p>浦添市身体障がい者福祉協会 副会長 宮城 委員</p> | <p>① 52頁に社会福祉協議会のリフトの記載があるが、片杖の人は利用できない。移動に困っている方がたくさんおり、リフト付きバスでは支援不足な状況がある。高齢化社会のなか現状のサービスは個々の支援でしかないため、高齢者や障害者が誰でも利用できる地域単位の移動支援を検討していただきたい。</p> | <p>(事務局)</p> <p>① 障がい者においても、自分で移動ができる方や人の手を借りないと移動できずリフトバスを利用する方々がいると認識している。福祉部署と連携して、自分で移動したいという方に対してどのような移動手段があるのか連携していきたい。</p> |
| <p>社会福祉法人浦添市社会福祉協議会 常務理事 森田 委員</p> | <p>① 資料3、交通計画のサブタイトルにおいて、「環境」を先頭に行っていることについて意味はあるのか教示いただきたい。他の「活力」「安心」の方が市民になじみが良いので、入れ替えてはどうか。</p> <p>② (青森の青函フェリーではHPにて定額タクシーと事前予約可の周知が行われており、フェリーとタクシーを利用してほしい地域の想いを</p> | <p>(事務局)</p> <p>① サブタイトルの「環境」を先頭に行っていることについて意味合いは特にない。どの文言も公共交通に関連したものなので、ご提案のとおり変更することについて事務局で検討したい。</p> <p>② タクシー事業者とのヒアリングの中で可能かどうか含めて記載内容を考えていきたい。</p> |

| | | |
|-------------------------------------|--|---|
| | 感じた。) 浦添市内のモノレール3 駅から市主要施設までの定額タク シー施策を検討いただきたい。 | |
| 浦添警察署 交通 課長 前泊 委員 | ① 免許保有者の高齢化が深刻である ため、免許返納も積極的に取り組ん で頂きたい。 | (事務局) ① 67頁の施策⑱にて記載のある利 用者の意識啓発推進活動は、高齢 者の免許返納促進も見据えて設定 しているものである。いきいき高 齢支援課とも連携して取り組んで いきたい。 (小川委員) ① バス会社としても免許返納された 方対象の運賃割引を行っている。 車によらない公共交通利用という 観点から今後とも行政として取り 組んでいただきたい。 |
| 株式会社琉球バス 交通 代表取締役 小川 委員 | ① 60頁に電動キックボードの記載 があるが、歩行者や自動車間との安 全面で懸念される部分がある。市内 の利用実態はどうなっているのか。 | (事務局) ① 現状の利用実態は把握していない が、ラストワンマイルとしての活 用ができないかと考えている。た だ安全面で危惧される部分もある ので61頁施策⑳記載の安全講習 会等でフォローできないかと考え ている。 |
| 一般社団法人沖縄 県バス協会 専務 理事 慶田 委員 | ① 地域公共交通計画(素案)全体で運 転士、ドライバー、運転手など呼称 が統一されていない。道路交通法、 運送法に記載される「運転者」に統 一してはどうか。 ② バス利用者の減少は無償運送の拡 大も要因のひとつだと考える。48 ～49頁ではバスを選択しないとい う人を減らすという目標が立て られているが他の施策と逆行する 可能性も含んでいる。混乗化輸送は バス選択と逆行しないよう慎重に 行ってほしい。 | (事務局) ① 記載内容を統一したい。 ② 公共交通をベースとして不十分な 部分で民間活用していきたい。 |
| 沖縄県土木建築部 都市計画課・モノ レール課 課長 | ① 沖縄県で行っているPT調査の結 果により、市内移動の25%が通過 交通とのことであるが、令和7年度 | (事務局) ① 承知した。 |

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| 下地 委員 | には改定計画がでてくるので、今後交通計画へ活用いただきたい。 | |
| 株式会社琉球バス 交通 代表取締役 小川 委員 | ① 大平 IC の結節機能も取り上げ、区画整理等のまちづくりと並べて取り上げてもらいたい。 | (事務局) ① 大平 IC は周辺に市の公共施設が多数あり公共交通でのアクセス方法を周知する必要があると認識している。施設内における案内やHP等で周知していきたい。 |

■ 3 その他連絡事項等